

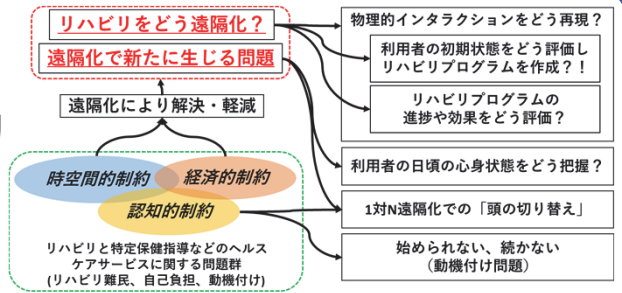
遠隔リハビリのための多感覚XR-AI技術基盤構築と 保健指導との互恵ケア連携

背景・狙い

リハビリテーションと特定保健指導に係る問題群を、時空間的、経済的、認知的制約を緩和することで解決・軽減

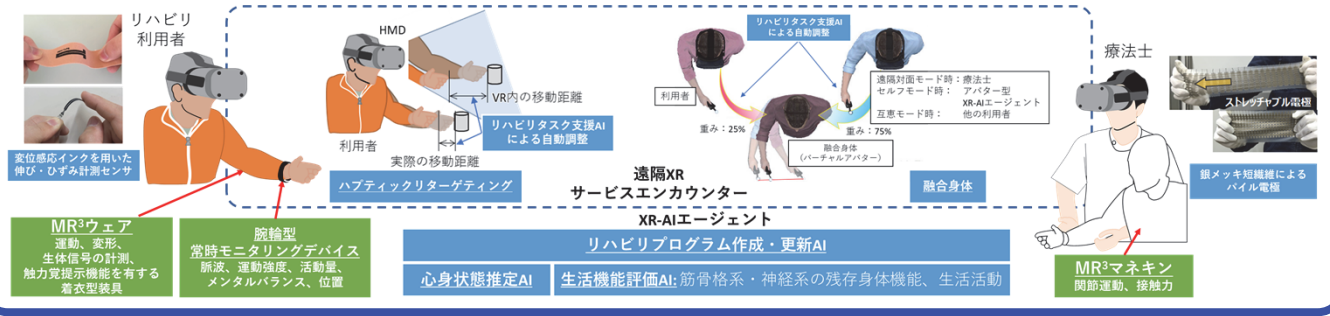
キーワード

デジタルヘルス、1対N遠隔化、遠隔互恵ケア、マルチモーダル計測・介入



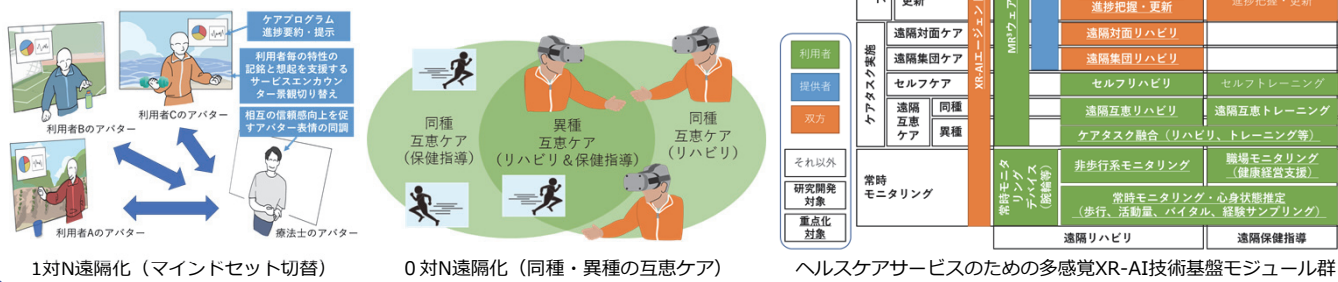
取組み内容

常時計測による心身状態推定とMR³デバイスによる身体機能詳細評価に基づいたケアプログラム作成・更新支援AIシステム、及び得られた各状態やケアタスク実施状況を遠隔の他者や自身に適切に変換・提示するXR-AIシステムを構築



想定される成果

- 遠隔リハビリのための多感覚XR-AI基盤整備
- 1対N、0対Nの遠隔ヘルスケアサービスの設計



XR-AI: XR powered by AI、エックスレイ
MR³: MultiModal Mixed Reality for Remote Rehab、エムアールキューブ

研究開発テーマ名 : 「遠隔リハビリのための多感覚XR-AI技術基盤構築と保健指導との互恵ケア連携」
委託先 : 国立研究開発法人産業技術総合研究所、国立大学法人京都大学、国立大学法人東京大学、セイコーエプソン株式会社、株式会社エブリハ
主要研究者 : 蔵田 武志 (産総研)、青山 朋樹 (京都大)、葛岡 英明 (東京大)、腰原 健 (セイコーエプソン株式会社)、大島 賢典 (株式会社エブリハ)
Webサイト : <https://unit.aist.go.jp/harc/nedo-xrai-healthcare/>

